

令和7年度（第35期）

丹波の森大学

学習基本テーマ「森の力」

受講生募集

もりびとになろう



公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600
丹波の森公苑内

TEL:0795-73-0933

FAX:0795-72-5164



森文化の揺籃!丹波の森大学

昭和63年に、豊かな自然と文化を活かした丹波の地域づくりの指針である「丹波の森宣言」が、多くの住民の署名のもとに採択されました。

これを受けて平成元年には、人と自然と文化が調和した地域づくりを目指す「丹波の森構想」が策定されました。

そして宣言採択から30周年を迎えた平成30年には、宣言の理念をしっかりと受け継ぎながら、社会環境やライフスタイルの変化をふまえた、新しい丹波の地域づくりが始まりました。

丹波の森大学も、新しい時代のなかで個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そして、それを支える「もりびと」づくりのためのより深い学習と実践の場として生まれ変わりました。多彩な講師陣による講義と現地学習をまじえた講座にご期待ください。



特別顧問
齋藤 元彦
兵庫県知事



学長
角野 幸博
丹波の森公苑長
関西学院大学名誉教授

学長から一言

丹波の森大学では、年度ごとに基本テーマを決めて、そこに多様な切り口でアプローチします。

令和7年度も、大学などで教育・研究を行いながら、地域づくりの第一線で活躍されている講師に登壇していただきます。また、ゼミ形式を取り入れて講師と受講生が相互に議論したり発表したりする機会を設けます。

若者や仕事をお持ちの方など、様々な世代の方に受講していただくことができます。講義を聴くだけでなく、現地学習の機会もあります。地域で学び、そして地域づくり活動に関わることの醍醐味を味わってみてはいかがでしょうか。

丹波の森大学学長 角野幸博

学習の基本テーマと講師紹介

学習の基本テーマ 森の力

第35期の通年テーマは「森の力」です。丹波の森は、動植物の命やヒトの生活を守ったり、地域経済を支えたり、文化や芸能を育むなど様々な力を有しています。これが丹波全体の地域力の源になってきました。ところが今、森の力が弱まっているように思います。

皆さんは「ネイチャーポジティブ」という言葉をご存じでしょうか。「自然再興」すなわち、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことを意味します。自然環境保全の取り組みを、経済から社会、政治、技術までの全てに広げることで、自然豊かになっていくプラスの状態にしていこうということです。ネイチャーポジティブは「みんなで我慢する」のではなく、「生き物を含めたみんなで豊かになる」ための目標であり、まさに「森の力」を総合的に強化しようということに他なりません。森の力を知り、再びよみがえらせ、強化していくために、私たちは何をすべきなのか、これを一緒に考えてみましょう。

第1回 5月24日(土) 開講式(9時30分～) ガイダンス(10時00分～10時30分) 10時30分～12時00分 丹波の森公苑 多目的ルーム



Noriaki Murakami
村上 哲明

兵庫県立人と自然の博物館館長
東京都立大学名誉教授

講義テーマ

「森が育むキノコの多様性と樹木との共生」

第2回 6月14日(土) 10時00分～11時30分 丹波の森公苑 多目的ルーム



Takuji Okuno
奥野 卓司

関西学院大学名誉教授
(公財)山階鳥類研究所シニアフェロー

講義テーマ

「江戸と上方の鳥と森の文化」

第3回 7月30日(水) 13時00分～14時20分

丹波の森公苑ホール

公開講座

(丹波OB大学合同開催)



Muneharu Nakagai

中貝 宗治

(一社)豊岡アートアクション理事長
前豊岡市長
元兵庫県議会議員

講義テーマ 「ローカル&グローバルの挑戦」

第4回 8月23日(土) 10時00分～12時10分

丹波篠山市民センター

多目的ホール

公開講座

10時00分～10時30分



Yasuo Amano

天野 康生

パナソニック エコリレー ジャパン 事務局長

ユニットピアささやまでの里山再生の取り組み

講義テーマ

「すべてのいのちが、いきいき暮らせる世界のために
～Panasonic Eco RELAY for Sustainable Earth～」



Yukihiro Morimoto

森本 幸裕

京都大学名誉教授、農学博士
(公財)京都市都市緑化協会理事長
(一社)生きもの共生事業所推進協議会会長
日本造園学会上原敬二賞、
松下幸之助花の万博記念賞等受賞

講義テーマ

「温故知新の生物文化多様性
～ネイチャーポジティブの景観生態学再考～」

Yukihiro Kadono

角野 幸博

丹波の森大学学長

「丹波の森をネイチャーポジティブに！」

第5回 9月6日(土) 10時00分～11時30分

丹波の森公苑

多目的ルーム



Takeshi Hirakushi

平櫛 武

キタイ設計株式会社経営企画本部部長
(一社)建設コンサルタンツ協会環境配慮専門委員会副委員長
「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会企画委員会委員
ひょうご関係人口案内所(さとまちガイドラボ)事務局
兵庫県地域再生アドバイザー

講義テーマ

「地域でのファシリテーション技術を学ぼう」
地域をはじめ各種分野(農業、防災、福祉、子育て等)で
役立ちます！
地域に入って、ファシリテーションを行うことの必要性を
学ぶ基礎的な講義です

養成ゼミコース

〈1回目〉10月10日(金) 〈2回目〉10月30日(木)

〈3回目〉11月14日(金) 〈4回目〉11月28日(金)

※会場、テーマについては、別紙記載のとおりです。

第6回 10月4日(土) 10時00分～11時30分

丹波の森公苑

多目的ルーム



Keiko Kuroda

黒田 慶子

神戸市副市長
神戸大学名誉教授
京都大学生存圏研究所特任教授

講義テーマ

「里山の資源利用の再開で森の力を取り戻す」

第7回 11月7日(金)

現地学習 福井県年稿博物館 他



三方五湖の1つである水月湖の海底で発見された奇跡の堆積物と呼ばれる7万年に及ぶ年稿の成り立ちと、考古博物館などを見学します。

※年稿とは、プランクトンや鉄分など、季節によって異なるものが湖の底に毎年積もることで、縞(シマ)模様になった泥の地層です。

※参加費(バス代、入館料等)が必要

第8回 12月13日(土) 10時00分～11時30分

丹波の森公苑

多目的ルーム



Eiji Terado

寺戸 英二

篠山神楽社中代表
地おこし協力隊 柏原高校魅力化コーディネーター

講義テーマ

かぐら
「神楽の森」

第9回 1月17日(土) 閉講式(11時30分～)

10時00分～12時00分

丹波の森公苑

多目的ルーム



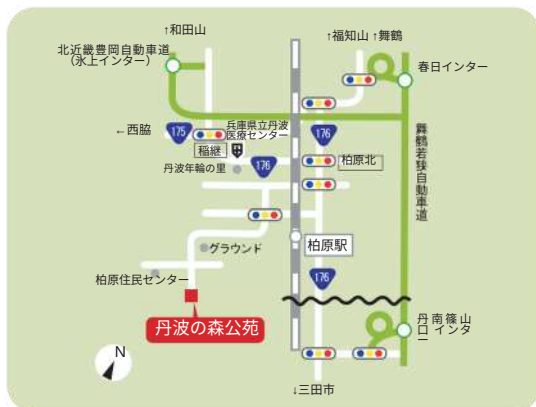
Yukihiro Kadono

角野 幸博

丹波の森大学学長 丹波の森公苑長
関西学院大学名誉教授

講義テーマ 「森の力をまちの力に」

会場地図



丹波の森公苑



丹波篠山市民センター

丹波の森宣言

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。

今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを次のように進めることを宣言します。

- 1 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 2 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- 4 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

昭和63年9月1日

募集案内

定員	講座回数	受講料	その他
60名 (先着順)	9回 ☆養成ゼミコース4回	8,000円 (学生は無料)	☆修了者（5回以上の受講生）には学長より修了証書を交付します。 ☆2歳～就学前のお子様の託児をご希望の方は事前予約が必要です。

受講申込方法

- ①受講申込書（別紙）に、必要事項を記入の上、事務局までお持ちいただくか、または郵送、FAXでお申し込みください。
- ②申込フォーム（QRコード）より申し込みいただく場合は、
右記のQRコードを読み取り、フォームに従って送信してください。
- ③申込締切 5月20日（火）

申込フォーム



※定員を超えた場合は、募集期間内であっても募集を終了させていただく場合があります。
※ご記入いただいた個人情報は、安全かつ厳重に管理します。

申込・問合せ先

公益財団法人 兵庫丹波の森協会「丹波の森大学」事務局
〒669-3309 丹波市柏原町柏原5600
TEL: 0795-73-0933 FAX: 0795-72-5164

※本大学は学校教育法に定める大学ではありません。